

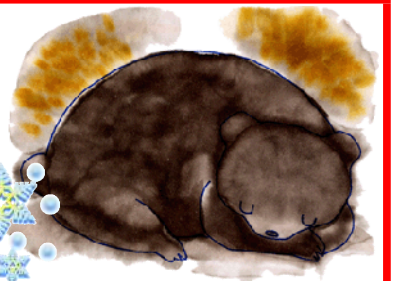


12月になりましたね…未だ市内では「熊騒動」が続いていますが、何時になったらこの騒動は納まるのでしょうか？ 右の挿絵のように早く「冬眠」してくれると助かりますがね…雪が積もる前に冬囲いや、消雪設備の点検など多くの準備を済ませておかなければならない時期になっちゃいました。
今年も1年、弊社の「瓦版」にお付き合いいただきありがとうございました…来年が皆様にとりまして、より幸多き年になることをご祈念いたします。

瓦版 12月号



発行 (株)カネマタ工務店
TEL 025-792-2560
FAX 025-792-7102
http://kanematak.com



大根と白菜のクリーム煮

【材 料】	鶏モモ肉	2枚	ローリエの葉	適宜
	塩・コショウ	少々	A 洋風スープの素	1個
	玉ねぎ	1個	A 水	1カップ
	大根	600g	B 生しょうゆ	大さじ2
	白菜	400g	B 生クリーム	1/2カップ
	小麦粉	少々	B 牛乳	1/2カップ
	バター	小さじ4		



※材料の目安 4人分
※エネルギー: 482kcal
塩分 : 2.1g / 1人分

【作り方】

1. 鶏肉は一口大に切って塩とコショウで下味をつけしばらく寝かせ、これに薄く小麦粉をまぶす。
2. 玉ねぎは薄切りに、大根は皮をむき乱切りに、白菜は白い部分は縦半分にしそぎ切りに、緑の葉は適当に切る。
3. バターを溶かした鍋に1を入れ表面が少し固まるまで炒める。玉ねぎ・大根・白菜の白い部分を加え1分程炒める。
4. Aの固形スープの素・水を入れ、ローリエの葉を加え、煮立ったら弱火にし、蓋をして約10分煮る。
5. 白菜の緑の葉(食べ易い大きさに切った物)を加えてしんなりしたら、Bを注いで約2分煮る。

12月を「師走」と呼ぶのは何故？

1年の締め括りとなるこの12月…「師走(しわす・しはす)」と言われますが、これは陰暦(旧暦)12月、陽暦(新暦)の12月の和風月名として知られています。そもそも陽暦は陰暦よりも1箇月ほど遅れています…陰暦の12月は陽暦の12月下旬から翌年2月上旬頃に当たり、陰暦の最後の月が「師走」と呼ばれていました。

その意味・由来・語源には諸説ありまして、最も有名な説が仏教に由来し「師匠」であります僧侶が、お経をあげるために東西を馳せる月と言う意味の「師馳す(しはす)」だと言うものです。この「師馳す」は平安末期の「色葉字類抄」の説明によると民間語源とされ、現代の「師走」はこの説を基に字が当てはめられたと考えられています。

他にも、年が果てる(終わる)と言う意味の「年果つ(としはつ)」が、「しはす」に変化したと言う説や、四季の果てる月を意味する「四極(しはす)」を語源とする説、1年の最後に成し終えると言う意味の「為果つ(しはつ)」を語源とする説などもあります。

この「師走」には語源の他に様々な呼び方があり、陰暦の10~12月が冬に当たる為12月の「師走」が冬の最後の月になるので「晩冬(ばんとう)」とも呼ばれるようです。



今日は何の日…「シーラカンスの日」

12月20日は「シーラカンスの日」です。シーラカンスは化石としてその存在が確認されてきましたが、1952年のこの日インド洋のコモロ諸島で「カルムナエ種」の現生が初めて捕獲された事に起因します。

その後、1997年にはインドネシアのスラウェシ島近海でも、別種の「ラティメリア・メナドエンシス種」の現生が確認されるなど既に「絶滅」したと思われていたこの種の発見は全世界を驚かせたことでしょうね…

そもそもこの種は古生代デボン紀に出現したと考えられ、広く世界の水域に栄えましたが、およそ6500万年前(中生代白亜紀末)の大量絶滅(K-Pg境界)を境に絶滅したと考えられ、その後の地層から化石が発見される事は無かったようです。

現生の2種はいずれも「深海」に生息し、「大量絶滅」で多くの生物が滅んだ後も生き永らえ現在に至っています…近年深海調査の技術が発達し、その生態を画像に納める事も可能となってきました。数億年の時をほとんど変化しない形態で種を保全してきた彼らはまさに「生きた化石」と言えます…

現在、この2種の「総個体数」はおおよそ1000匹ほどではないかと推定され、過酷な深海での生息を考えると絶滅する可能性は非常に高いです。生態は数匹の群れをつくって生活しているようです…また、化石からこの種は「卵胎生」であると推測されていましたが、捕獲された現生種の解剖によりそれが間違いない事が証明されました。

浅い水辺から深海に生活域を変え、数億年を生きているこの生物から学ぶ事も多いのではないのでしょうか？



「第二現場」 年内の完成は断念…

10月から「木造躯体」の組立を始めた「第二現場」…先月迄で外装工事も終わり現在、外部では乗入と舗装・構造物の築造が進められ内部においては階段の組立や壁の石膏ボード張が始まりました。当初の計画では今月の終盤…クリスマス頃を目標に工程を考えていましたが、諸般の事情で間に合う可能性が非常に低くなっちゃいました…

通常ですと着工から完成迄、およそ5・6箇月の時間が掛かるので来月いっぱいには掛かる事になりますが、当初の予定では「集中して施工すれば…」と言う考えもありました。誤算だったのは来年度の予定として考えていた「大規模リフォーム」の工事が、今年の年内中に完工させなければならなくなった事も大きく影響しています…現在、私を除き4人の体制で現場を進めています、現場が2軒以上になるとどうしても2人づつのシフトを組まざるをえないのです…

しかし、この「第二現場」も各種の助成金の対象物件ですので、来年の1月中にはどうしても完成させなければなりません。先日、お施主様に事情を説明しご承諾はいただきましたが、今後の工程を組む上でまだ不確定要素が多く残っていますので、この12月の進捗状況を見ながら工事を進めるしかありませんね…



12月 師走 2019年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安
	上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日	三熾亡	地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	三熾亡		地鎮祭 上棟吉日	赤口	上棟吉日	上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	三熾亡	地鎮祭 上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	三熾亡	地鎮祭 上棟吉日	大安	赤口	上棟吉日	上棟吉日	上棟吉日	赤口	地鎮祭 上棟吉日	上棟吉日	上棟吉日	三熾亡	